

学際高等研究教育院 学際科学フロンティア研究所 共催

# 全領域合同研究交流会

平成30年度 後期第3回 12月7日(金) 13:00～

場所:学際高等研究教育院 大セミナー室

ポスター発表(13:00～13:50)

『アフリカツメガエル の骨髄に由来する間葉系幹細胞の培養方法の確立』

—山口 理奈 博士教育院生(医学系研究科/生命・環境領域)

『蚕のマコ由来の材料を用いた医用材料の創製』

—千釜 広己 博士教育院生(医工学研究科/生命・環境領域)

『含ケイ素短寿命化学種の単離 ～普遍元素Siを活用した新物質の探求～』

—小林 良 博士教育院生(理学研究科/物質・エネルギー領域)

『多孔性樹脂を触媒としたバイオマス由来界面活性剤の合成』

—笹山 知嶺 博士教育院生(工学研究科/生命・環境領域)

『精子エピゲノムの機能と応用』

—酒井 和哉 修士教育院生(農学研究科/生命・環境領域)

『化学的手法を用いた自然毒の生合成研究』

—前野 優香理 修士教育院生(農学研究科/生命・環境領域)

『細胞の力覚応答に関与するRho-GEF, SoloにおけるBioID法を用いた関連蛋白質の同定』

—佐藤 博紀 修士教育院生(生命科学研究科/生命・環境領域)

『細胞内小器官小胞体におけるタンパク質品質管理の理解』

—奥村 正樹 助教(先端基礎科学領域)

『非磁性重金属/強磁性金属/酸化物ヘテロ構造における  
スピン軌道トルク誘起磁化反転の時間・空間的發展様式』

—張 超亮 助教(デバイス・テクノロジー領域)



多様化・精密化する現代で私たちが直面する多くの問題には、様々な要因が複雑に絡み合っています。学問体系の枠組みにこだわらず、異なる研究分野同士が手を取り合って新たな学問領域を切り開き、種々の課題に立ち向かうことが必要です。特に学際科学フロンティア研究所の若手研究者と学際高等研究教育院の研究教育院生は、先陣を切って分野横断的な融合領域研究を推進することが求められます。

融合領域の創成には、複眼的・多角的な視点が不可欠です。この視点を養うために「全領域合同研究交流会」では、若手研究者と大学院生が自身の研究をわかりやすく紹介し、自然科学・人文社会科学の境界を越えた議論を行っています。参加者が各々の研究を見つめ直し、深め、広げる機会でもあります。

本交流会は、学際高等研究教育院の研究教育院生が中心となって運営しています。学際科学フロンティア研究所・学際高等研究教育院に所属する方はもちろん、東北大学のすべての研究者・大学院生・学部学生の参加を歓迎します。是非お気軽にご参加ください。

学際高等研究教育院生一同

口頭発表(14:00～15:00)

『動物のもつ“形”の維持機構～魚類の再生研究からのアプローチ～』

How animals maintain their unique proportions?

—植本 俊明 博士研究教育院生(生命科学研究科/生命・環境領域)

『高性能なデバイス材料となる有機分子の設計・合成』

Synthesis of functionalized macrocyclic aromatic hydrocarbons

—芳井 朝美 博士研究教育院生(理学研究科/先端基礎科学領域)

次回予告

平成30年度後期第4回:1月11日(金)13:00～

詳細は決まり次第ホームページにてお知らせします。

[http://www.fris.tohoku.ac.jp/feature/whole\\_area\\_info/](http://www.fris.tohoku.ac.jp/feature/whole_area_info/)

お問合せ

学際高等研究教育院 総合戦略研究教育企画室

022-795-5749 E-mail:senryaku@iicare.tohoku.ac.jp



東北大学

学際科学フロンティア研究所

Frontier Research Institute for Interdisciplinary Sciences



Tohoku University Division for Interdisciplinary Advanced Research and Education

学際高等研究教育院

DIARE